

歳出予算事業概要書

款	09 教育費	項	05 社会教育費	目	06 文化振興費
事業	大 0030 文化財保護団体育成補助金 (簡略番号：016031)	中		小	
事業期間	平23. 4. 1～平24. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分		事業区分		目的区分	教 - 社会教育費
補助単独区分					

所属	0101012700-0000 生涯学習人権推進課(生涯学				
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	272	305	33	305	305
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	136	152	16	152
	地方債				
	その他				
一般財源	136	153	17	153	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】地域の伝統芸能・文化を保存し、住民同士のつながりを深めていくため、対象経費の1/2を上限に各保存団体に補助金を交付するものである。
《補助対象団体》
 ・橋津ふるさとの文化を守る会(町指定 茶町踊り・湊神社の祭礼行事)
 ・宇野三ツ星踊り保存会(町指定 宇野三ツ星踊り)
 ・東郷浪人踊保存会(県指定 東郷浪人踊)
 ・泊大名行列保存会(町指定 泊の大名行列)
 ・泊貝がら節保存会(町指定 泊貝がら節)

2. 根拠法令
 湯梨浜町文化財保護条例

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第1次総合計画】次代を担う心豊かな人が育つまちづくり(地域文化の保全と活用)

5. 本年度の計画効果
【本年度の事業内容】町内の文化財保護団体に対し補助金を交付する。
 補助対象は国・県・町指定の文化財保護団体とし、保存・伝承活動や上演・発表・公開にかかる経費について補助を行う。
 補助に対する基本的な考え方
 ・町指定(県指定・国指定)文化財とその保護団体は文化財の補助金で対応する。

【事業の効果】
 伝統芸能の保存・公開などについて活動している団体を支援することで、先人から受け継いだ文化遺産を途切れさせることなく未来に継承する。
 地域ごとの特色ある郷土文化を核として、地元住民の連携と交流を促進する。
 住民が毎年繰り返し行事・芸能を経験することで、自分たちのルーツに関する理解と愛着を深める。

6. 財源の説明
【県支出金】鳥取県市町村交付金 136千円
【一般財源】 136千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 原材料費		
02 給料			17 公有財産購入費		
03 職員手当等			18 備品購入費		
04 共済費			19 負担金、補助及び交付金	272	272
05 災害補償費			20 扶助費		
06 恩給及び退職年金			21 貸付金		
07 賃金			22 補償、補填及び賠償金		
08 報償費			23 償還金、利子及び割引料		
09 旅費			24 投資及び出資金		
10 交際費			25 積立金		
11 需用費			26 寄附金		
12 役務費			27 公課費		
13 委託料			28 繰出金		
14 使用料及び賃借料			予備費		
15 工事請負費			合計	272	272

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	14020804208	市町村交付金(文化財保護事業)	136	152

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率	補助金額	

【実施計画】

実施計画	部			実施計画
	章			計上額
	節			
	細節			

歳出予算事業概要書

款	09 教育費	項	05 社会教育費			目	06 文化振興費		
事業 大 中 小 細	0030 文化財保護団体育成補助金 (簡略番号：016031)								
	事業期間 平23. 4. 1～平24. 3.31								
経費区分			新規・継続	継続	臨・経	經常			
補助単独区分			事業区分						
			目的区分	教 - 社会教育費					

財 源 内 訳	区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費					
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
一般財源						

【事業概要】

--	--

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
合計					

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施 計画	部				実施計画 計上額
	章				
	節				
	細節				